

平成21年

第8回

女と男の一行詩

ひとひと



応募者数 462名
応募総数 807点

🌟 最優秀賞

つへらない

つへらない 男女の差

私たちのクラスは男女の仲がすごく良いです。性別が違うからといって人に差別されてはいけないと思うし、男女の間に壁をつくるのもいけないと思い、これを考えました。

瀬賀秀哉さん

🌟 優秀賞

手をつなぎ 共に歩けば見えてくる

男と女の平等社会

この度、私がこのような賞を頂く事が出来、とても嬉しく思います。この一行詩の様に、これからの社会が男女の格差なく、力を合わせて明るくなることを願います。

橋爪聖さん

🌟 優秀賞

食い違う 意見があつてあたりまえ

両方認める 新しい社会

この詩を書く時に考えた事は、男女の価値観の違いやこれからの社会の風潮が、こうあつて欲しいなどです。この詩を少しでも多くの人に読んでもらえたら嬉しいです。

水野友弥さん

入選

男だからとか 女だからとか
そのままに人間だから

小笠原千尋さん

入選

参観日 おめかししてきたお父さん

中野悠人さん

入選

母出産 育児休暇で父奮闘

中山宏美さん

入選

見直そう 伝統的な 男は外
女は内の考え方

藤原万梨恵さん